

# エコライフまつり～実行委員会形式で行うお祭り～



2015年度で25回目の実施となったエコライフまつりは、グリーンタウン地区自治会長連絡会が結成された翌年、1991年に事業者が中心となってグリーンタウン地区有志により「第1回エコライフまつり」が開催されました。当初は自治会は協賛のかたちでエコライフまつり実行委員会に加わり、以降毎年開催されてきました。グリーンタウン地区は分譲によりこの地に新たに住み始めた人達がエコライフまつりを企画し実施してきました。エコライフまつりは、住民同士のつながりや助け合いの必要性を感じた結果であり、グリーンタウン地区のコミュニティ形成の原点となっています。1999年にはエコライフまつり実行委員会の運営主体が事業者から1996年に発足したグリーンタウンコミュニティ推進協議会に移り、19の自治会(2015年現在)と事業者会・自治医科大学生自治会・子供会育成会・小中学校・NPOなどによる実行委員会形式で実施されています。毎年4月から企画会議を重ね、7月の本番を迎える手作りのおまつりです。参加した子ども達がグリーンタウンを故郷と感じ、将来地域コミュニティ推進の担い手として育っていくことを願っているそうです。



## 地元の 小・中学生が…大活躍!!

- 音頭づくり(作詞)に参画※
- 音頭の踊りお披露目にも参加
- 子ども神輿の参加



南河内第二中学校  
生徒が制作した  
子ども神輿  
(小川政次氏監修)

**子どもの参画** エコライフまつり実行委員会は、2015年度のまつり発足25周年を迎えるにあたり、新たな事業として「幸せの縁結び音頭」を制作しました。7月25日エコライフまつり当日、踊りの振付とあわせお披露目となりました。この音頭は、作詞は、主に祇園小学校及び緑小学校、南河内第二中学校の生徒さんが参加し、それをプロの音楽家に作曲いただいたオリジナルソングです。

また、踊りのお披露目のために、事前に練習会を企画し、参加者を募集したところ、石橋地区、国分寺地区からも小中学生の応募があり、練習からおおいに盛り上がりを見せていたそうです。特に今回は、小中学生が、おまつりに参加して、盛り上げに一役買いながら、地域への愛着を育む良い機会となったようです。



## つながッテルね! 条例11条

### 子どもの参画 ⇒ 自治基本条例 第11条

市民、議会及び市は、子どもを下野市の未来を担う地域の宝として育てるとともに、子どもがまちづくりに参画する機会を積極的につくり、その意見を尊重するものとする。

※参画とは、まちづくりに積極的に参加し行動することをいう。(第3条第4項)